

1 はじめに

宇城中学校体育研究会は上村一浩会長（不知火中学校）を中心に 11 校の体育担当者 20 名で組織されており、11 校中 8 校は体育担当者が 1 名の小規模校である。

今年度、「主体的・対話的な学びを通して、『生きる力』をはぐくむ保健体育科学習の在り方」～『分かる・楽しい』授業づくり 5 つの心得』の実践を通して～の研究テーマを設定し、授業実践を中心に研究を進めた。

2 研究組織

- ・会長 上村一浩（不知火中） ・研究委員長 濱 久人（網田中）
- ・研究委員 田上大太郎（鶴城中） 今田圭哉（中央中） 佐藤達朗（小川中）
- 授業研究部会（鶴城・住吉・網田）、○授業実践部会（松橋・三角・不知火）、
- 指導法研究部会（小川・豊野・中央・砥用）、の 3 部会に分けて研究を進めた。

3 活動状況

月 日	場 所	概 要
4 月 2 3 日	不知火中学校	第 1 回教科等研 ○組織づくり、研究テーマの設定等 ○各部会の年間計画作成 →本年度新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止
7 月 2 8 日	リモート開催 [ホスト:不知火中学校]	第 2 回教科等研 ○研究組織・テーマ等確認 ○指導法研修「ICT 活用について」 ○演習「Teams の使い方について」 「国際パラリンピック委員会公認教材『I'm POSSIBLE』について」
1 1 月 1 日	鶴城中学校	授業研指導案検討会 ○第 3 回教科等研授業研に向けての指導案検討
1 1 月 8 日	鶴城中学校	第 3 回教科等研 ○公開授業「器械運動：マット運動」 ○その他（情報交換・情報提供）
1 1 月 1 8 日	リモート開催 [ホスト:益城総合体育館]	熊本県学校体育研究発表大会 参加

4 研究テーマ

「主体的・対話的な学びを通して、『生きる力』をはぐくむ保健体育科学習の在り方」
～『分かる・楽しい』授業づくり 5 つの心得』の実践を通して～

5 研究の概要

(1) 指導法研究

①実践発表「ICT 活用について」 松橋中学校 林田教諭

日頃の実践の中での ICT 機器の活用法を水泳の授業等の事例を挙げて紹介。また、他校の実践の

情報交換も併せて行った。それぞれ工夫を凝らしながら、模範演技の提示、生徒の意見交流、評価等のツールとして活用していた。特に、生徒の試技や演技の動画撮影を行い指導に生かしている事例が多く出され、効果的な活用の一つとして共通理解した。一方、ネット環境やタブレットPC、PCソフトなど、ハード面での整備が十分でないとの意見も出され、各地域や学校で活用の差が見られた。

②演習 「Teamsの使い方・国際パラリンピック委員会公認教材『I' mPOSSIBLE』について」 研究部

まず、Microsoft Teamsの使い方についての演習を行った。多くの学校で活用もなされており、担当より使い方の説明を行った。その後、会員でチームを組み、実際にTeamsに入り操作した。それぞれの先生方がつくった教材データもここで共有でき、今後会員の情報交換の場としての活用も期待された。次に、国際パラリンピック委員会公認教材『I' mPOSSIBLE』について、資料の確認及びホームページ内にある紹介動画の視聴等を行った。各校に配布されている教材は、すぐに授業で使用できるよう工夫されている。学習指導要領にもオリンピック・パラリンピックの意義や価値等の指導項目もある。今後、授業等で積極的に活用するよう確認し合った。

(2) 授業研究 研究授業 授業者 鶴城中学校 松野教諭

11月に鶴城中学校にて、単元「B 器械運動（ア マット運動）」（第2学年）の研究授業を行った。ここでは、5つの心得の中の「めあてに沿って『じっくり考え、はっきり表現』させる場の設定の工夫」に焦点を当てて授業実践を行った。この場の設定の工夫として、①ICT活用、②グループ編成の2点を工夫。授業では、生徒同士が自分やグループの動き（試技）の確認をタブレットPCで行いながら、技能を高め合っていた。グループ編成は、「ジグソー法」を用いた。タブレットPCを活用して、自分の技の習得に向けじっくりと向き合う姿、ジグソー法によるグルーピングで、それぞれのグループに技のスペシャリストが配置され、活発な対話活動の中、自分のもてる技術や知識をはっきりと表現している姿を見ることができた。授業研究会では、他の参観者から肯定的な意見が多かった。授業者からも、今回の工夫により、苦手な子ども達も積極的に動くようになったと評していた。一方、ICT活用に力点を置いて運動量が低下しないか、他の単元でもジグソー法は有効かなど意見も出た。単元内容、生徒の実態等に応じて効果的な場の設定を工夫していかないといけないことを確認し合った。また、その他として、授業を進める上での指導技術、ICT活用例、評価作成等についての話題も出て、とても有意義な時間になった。



タブレットPCで試技を録画



グループでポイントの伝え合い

6 研究の成果・まとめ

宇城で取り組んでいる『「分かる・楽しい」授業づくり5つの心得』の実践を意識した授業づくりについて、多くの先生方の知識や経験を出し合い、より効果的なものへと高め合う時間を持つことができたのが今回の大きな成果だった。この研究により、さらに各々の授業力・指導力が向上し、子ども達の「生きる力」の育成に繋げることができたのではないかとと思われる。特に鶴城中生徒の主体的・対話的に学ぶ姿、宇城の先生達が活発に意見交換し合っている姿からそう感じた。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、十分な研究ができない中、本年このような研究ができたことに感謝し、今後も、宇城中学校体育研究会全体で力を合わせ、保健体育科学習の在り方について研究を進めていきたい。